

氏名	公文正光
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙第1642号
学位授与の日付	昭和61年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	肝鑄型標本とその臨床応用 第1編 シリコンゴムを用いた肝鑄型標本の作製法 第2編 尾状葉の門脈枝と胆道枝
論文審査委員	教授 村上宅郎 教授 長島秀夫 教教授 寺本 滋

### 学位論文内容の要旨

第一編では著者の開発した、シリコンゴムを用いた肝鑄型標本の作製方法を具体的手技を中心に述べた。従来の鑄型標本は可塑性に乏しく、深在性の脈管を観察するには超軟線撮影や透過光を用いるなど特殊技術を要した。その点、シリコンゴムを用いた鑄型標本は柔軟性に富むため末梢枝を指でよけ、深在性脈管を直接肉眼で観察できる利点をもつ。また、必要に応じて、末梢枝を切断除去することも容易である。

第二編では、シリコンゴム製の肝鑄型標本を主として用い、従来の硬性標本では観察が容易でない尾状葉の脈管構造につき検討した。その結果、尾状葉は 1. Spiegel 葉, 2. 肝部下大静脈部, 3. 尾状突起部の3部分に区別し考慮すると、その定義、領域が明らかとなり、臨床的に有用であることが判明した。なかでも、肝部下大静脈部は、従来の報告には明確に記載されておらず、特に肝門部悪腫瘍の外科的治療に際しては、その存在に注意することが肝要である。

### 論文審査の結果の要旨

本研究はシリコンゴムを用いてヒト肝臓の血管を含む管系の肉眼的鑄型標本を作製したものであるが、特に肝尾状葉の外科的血管支配の特殊性を明らかにしたものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。